

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」熊谷校			
○保護者評価実施期間	2025年11月10日 ～ 2025年12月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と密に連携を取り、お子様の発達サポートの為に何をすればよいかを全職員が理解し取り組んでいること。	朝礼終礼、打ち合わせなどで密に職員同士で情報共有をして、お子様に最適な支援を提供できるようにプログラムを立案している。	支援の質を向上できるように研修や、全体で意見を出し合っ て自己研鑽に励んでいる。
2	支援計画の更新を丁寧に行い、モニタリングアセスメントで次の課題を設定し支援に当たれている。	作成時に打ち合わせや、情報を共有し合うことを指導員や児発 管の間で密に行っており、最適な課題設定をすることが出来て いる。	アセスメントで聞き取ったことを全員が意識できるように、 支援ファイル等に張り出す。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がないところ	ニーズが少数数の為、企画時にどのようにして交流をして子ど ものサポートの為にできるかがはっきりできていない。	他教室が実施している所の情報共有をいただき、保護者様に 周知徹底を図り、多くの人に参加をしていただく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」熊谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

12

回収数

11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1			スペースがわけてられていて十分確保されていると思います	お子様自身の課題に取り組む事ができるよう行ってまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				視覚的にもわかりやすいように工夫されていると思います	装飾や支援時にお子様によりわかりやすいようにさせていただいております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				毎回違うことをしてくださっているので子どもも飽きないで通えています	固定化されないよう毎回会議を行い個別支援計画に基づいた支援をさせていただいています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1		3		今後も継続して参ります
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					今後も継続して参ります
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					今後も継続して参ります
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	3	実績がないためわかりません	ニーズがありましたら、実施を検討していきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11				最近の様子を聞いてくださり共有できているとおもいます	どんなことでも、ご相談ください
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10		1			今後も継続して参ります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	6	実績がないためわかりません	ニーズがありましたら、実施を検討していきます

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				いつも相談するとすぐに対応していただけています	どんなことでも、ご相談ください
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11					今後も継続して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					今後も継続して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					今後も継続して参ります
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					今後も継続して参ります
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				通い始めて１０ヶ月程ですが、安心して子ども通っています	お子様の好きなものを支援に取り入れたり等工夫をしています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				楽しみにしていて早く行きたいと言っています	個別で楽しく療育に励めるようプログラムを工夫しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					今後も継続して参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」熊谷校				公表日		2025 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別に空間を分けている。パーテーションを利用し、スペース確保ができています	構造上、音や声を遮ることができないため、配慮が必要な利用者様の際は配置を変えることで対応します。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員や子どもの状態に対して、職員の配置数が適切である。	FB中の他兄弟、次の時間帯の利用児を含めると込み入った状態になってしまうので入室時の時間設定でできる限りの対応を致します。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	滑りにくくするためのマットを設置しています	外に段差があり、転倒する恐れがある			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている。月1回エアコンや空気清浄機の掃除をしている	網戸がないため都度空気の入れ替えが難しいときがありますが入れ替えができる時は行っています			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的には個別の部屋になっている	特性に応じて柔軟に対応していきます。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定例会議、朝礼、面談などを行っている	今後も継続して会議を行い、風通しの良い教室作りを致します。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年評価表を記入してもらい振替の場を作っている	質の向上を念頭に都度実施し検討していきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼や終礼を行い、業務改善を行っている	ご利用者様の情報をしっかりと共有できるよう継続して実施していきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		U内巡回を定期的に行っている	発達支援研究所を第三者としている。必要に応じて保護者への発信を検討しています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回以上実施されている	支援の質向上を全員で目指し、社内外の研修に参加、共有をしていきます。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援計画に沿った内容で組まれている	行政の指示に従って進めていきます。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用者の様子やご家庭の話から計画を作成している	アセスメントを正確に取り、適した計画を作成するよう心掛けます。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全ての職員が参加して行われている	全員が共通した認識で支援に当たれるよう会議を実施していきます。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼や回覧で全職員が知る機会がある	支援の芯になるところなので確実に全員が共通認識になるよう実施していきます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		今年度も改定あり	社内で検討されたフォーマットをもとに実施していきます。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の様子やご家庭の話から計画・内容を作成している	保護者様と相談しながらニーズに沿った支援内容を明記していきます。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		計画をもとに作成。その子の様子を都度全体で共有し立案している	個別にて、対応職員がローテーションの対応をしているので、支援がぶれないようにしていきます。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		いろんな職員が担当するため、プログラムが固定化することはない	固定化はしないがぶれないように全体で相談し、個別支援計画をしっかりと確認しながら支援プログラムを設定します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	月1回の集団活動をさせていただいております	基本的には個別療育
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で打ち合わせしている	個別の良さが生きるように、しっかりと除法共有をしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼や終礼などで打ち合わせをしている	気づきからサポートできる点を模索しながら療育を実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後必ず記録を記入。全職員に共有している	PCでの記録を徹底していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年以内での更新にしている	期限を守り実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と職員で参加している	ご要望に応えられるよう参加をさせていただきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		園との連携あり	必要に応じてこちらから確認を取って連携していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園との情報共有あり	児発のご利用者様については園見学をさせていただいております
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	必要に応じて連携をさせていただきます	ニーズ無
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			機会がありましたら参加をさせていただきます	児童発達支援センターとの関わりが薄い
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	AJが参加されているイベントに参加させていただくことがあります	ニーズ無
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後に保護者の方と話をするFBの場がある	FB以外でもお話を聞きながら共通認識が取れるよう実施していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	FBや家庭連携を実施	ニーズ無
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		FBで相談援助を実施している	変更時は即対応をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングアセスメントを実施している	個別支援計画に基づいた支援の提供を行っています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		確認をしサインをいただいている	ご契約時に説明していきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FBや家庭連携を実施	必要に応じて、家族支援を実施していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	受給者証をお持ちでしたらイベント等きょうだい同士で交流する機会を設けております	ニーズ無
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で情報共有をし速やかに対応するようにしている	苦情があった時には迅速に対応ができるよう心掛けてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram・ブログ・LINEなどで情報共有をしている	定期的にブログ、Instagramを上げさせていただいております。周知はできていないため、教室での掲示をさせていただきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を置きっぱなしにしない、鍵付き書庫で保管、SNSに情報がのらないようにしている	だしっぱなしがないよう、今後取り扱いに十分気を付けていきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		外国籍の利用家族にはひらがなで対応、分かりやすく説明できるよう心掛けております	どのような情報伝達がわかりやすいのかしっかりと考えながら利用者様保護者様と関わり合っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	AJが参加されているイベントに参加させていただくことがあります	イベントに招待することはないが、AJ関連で地域イベントと関わりを持つことがある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルがあり、研修訓練を定期的に行っている	事故のないよう、緊張感をもって訓練を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアルがあり、研修訓練を定期的に行っている	地域的に川が近くにあるのでそれも交えて訓練をしています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		予防接種はないが、服薬やてんかんの確認は行っている	必要に応じて確認させていただきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーにかかわるイベント時は確認している	アレルギーにかかわるイベントがあるときには徹底してまいります。確認を怠らないようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルがあり、研修訓練を定期的に行っている	担当委員が出席し教室内に周知を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時にお伝えしている	利用者様も参加でき実感が湧けるよう支援していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さなことでもヒヤリハットをあげ、情報共有し報告書作成している。改善に向けて環境を整えるなど日々工夫している	改善に向けて今後どうすればヒヤリハットが減るのかを考えていきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社単位で実施	客観的に支援ができているか職員同士で確認していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		承認を得て支援を実施している	「身体拘束に関する同意書」にご同意いただく際「お子様の安全確保の為に身体拘束であること」の説明を行っています。